



文教大学 父母と教職員の会

会報108号

発行 文教大学父母と教職員の会 発行日 平成25年9月8日

〒343-8511 越谷市南荻島3337

越谷 ☎048-974-8811 FAX. 048-977-7791

湘南 ☎0467-53-2111 FAX. 0467-54-5721

ホームページ <http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/> e-mail fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp



越谷旧街道散歩道

目次

第28回代議員会	…2
平成24年度決算及び	…4
平成25年度予算	…5
都道府県のページ	…6
(第18回 山形県支部)	…6
支部派遣教職員報告 その⑩	…7
福島会津支部総会	…7
神奈川県支部総会	…7
湘南キャンパス一日大学	…8
越谷キャンパス一日大学	…10
新連載①	…11
現場から見た昨今の文教大生気質	…12
大学生の「気風」について	…12
「親と子のための進路問題研修会」	…13
のお知らせ	…13
学内訪問「どんなところ？」	…13
越谷校舎 施設課	…14
役員・事務局一覧	…14
学生活動紹介	…14
吹奏楽部(湘南)	…15
新歓スポーツ大会(越谷)	…15
支部総会一覧	…16
お知らせ	…16

第28回

代議員会

6月1日(土) 午後1時半より、
越谷校舎12号館12101教室にて
第28回代議員会が開催された。

全国44支部中、43支部から支部長
または代理の参加があり、昨年同様
の盛況であった。吉澤勝宣副会長の
開会宣言で始まり、高橋会長、野島
顧問(学長)の挨拶、惠羅事務局長
の挨拶と出席者の紹介に続いて、議
長に関根副会長・関運営委員が選出
され、議事に入った。議事進行はお
おむね以下の通り。

〈報告事項〉

・校友会への加盟について
・支部及び学生活動に関する三規程
の変更について

〈審議事項〉

- ①平成24年度事業・活動報告
- ②平成24年度決算報告・会計監査報告
- ③平成25年度新役員承認
- ④平成25年度事業・活動計画
- ⑤平成25年度予算

(③の内容はp.14に掲載)

その他、新役員の紹介と前支部長
等への感謝状、記念品の贈呈が行わ
れ閉会した。

全体として滞りなく提案・質疑が
行われ、全ての審議事項が全会一致
で承認可決された。

その後、恒例の『学長主催パーテ
ィー』が、3号館2階にて、運営委
員の司会のもと行われた。法人か
ら渡辺理事長、石田学園長、大学か
ら主催者の野島学長、俣野大学事
務局長をはじめ多くの教職員会員の
方々、また、藍蓼会から安岡会長も
出席され、代議員の方々と交流を深
めることができ、例年同様に盛況な
会となった。

《平成24年度 事業・活動報告》

前回(第27回)代議員会で承認さ
れた各計画事項に沿って実施された
ことが報告され、了承された。以下
が議案(報告)の概略である。

【重点活動項目】

1. 財政安定化
広報活動、サービスの質の向上。本
会紹介印刷物による加入促進など。
2. 支部単位の活動支援の強化
支部総会・研修会への教職員派
遣。支部交付金の交付。支部活動特



高橋会長ご挨拶

別援助金を新設。

3. 就職対策への援助強化
大学キャリア支援課との連携。神
奈川県・埼玉県支部共催「親と子の
ための進路問題研修会」への便宣。
4. 学園の「校友会」との連携
平成24年発足「校友会」への加盟。
5. 会員及び学生の活動援助強化
援助金活用のための広報の強化。
6. ホームページの充実
活動充実強化特別委員会内に専門
のチームを設置。

【継続活動項目】

7. 代議員会の開催
6月2日(土) 越谷キャンパスで
開催。
8. 支部長研修会の開催

11月10日(土)・11日(日) 湘南
キャンパスで開催。

9. 「父母のための一日大学」の開催
6月3日(日) 越谷・湘南両キャ
ンパスで開催。

(越谷約500名、湘南約200名参加)

会員へのサービス

10. 会員への生涯学習機会の提供
①「父母のための一日大学」や支部
総会・研修会において生涯学習の機
会を提供。

②生涯学習センターなどの有料講
座・講習会に参加する会員に一割程
度を援助。(2件)

11. 会員子女への援助

①生涯学習センターの有料講座・講
習会に参加する会員子女に一割程度
を援助。(19件)

②キャリア支援課の有料講座・講習
会に参加する会員子女に一割程度を
援助。(31件)

12. 学生活動への援助

・学生活動一般援助金支給。
(合計：240,000円)
・全国大会等参加のクラブ・サーク
ルに学生活動特別援助金支給。
(合計：299,000円)

学生生活への援助

13. 学生生活への援助
突発的事由で経済的負担が増加し
た会員の子に援助。(2件)



野島顧問（学長）ご挨拶

「父母のための大学ガイドブック」

配付

14. 活動充実強化委員会を設置し、今年度入学された学生の保護者の方々へ「父母のための大学ガイドブック」を編纂し8月上旬に配付。

広報活動

15. 会報・オリオン通信の発行と本会ホームページの運営

・会報は年3回発行。

（No.105、No.106、No.107）

・ホームページの充実をはかった。

・支部長向けに「オリオン通信」

（No.137、No.138）、支部長・役員・全教

職員向けに「父母と教職員の会通信」

（No.15、No.16、No.17、No.18）を発行。

16. 学生への広報

①オリエンテーション時の配付物等。

②湘南キャンパス推薦入学新入生保

護者向け事前説明会に協力。
その他

17. 特別委員会設置

諸規程検討特別委員会、活動充実強化特別委員会を設置し開催した。

18. 藍蓼会（同窓会）・県人会との連携の強化

藍蓼会の活動に積極的に協力。藍蓼会が主催する「ご退職される教職員を送る会」等。

19. 功労会員への感謝状・記念品の授与

支部長、教職員の退任、退職時に感謝状・記念品を授与した。

20. 学生保険と保護者保険の募集

学生の24時間のケガと損害賠償を補償する学生保険と、保護者の病気・事故を補償する保護者保険（無事故戻し付き）の募集について、東京海上日動火災保険株式会社及び三井住友海上火災保険株式会社と事務委託契約書を締結し、それぞれから事務費を受領した。

《平成25年度 事業・活動計画》

会費納入新方式の効果が継続し、会費納入も安定してきた。これを機に事業内容を一層充実すべく、学生活動一般援助金の大幅な増額を計画した。また支部活動の充実に力を入れることで会員への還元をし、満足

度を高めていきたい。

【重点活動項目】

1. 財政基盤のより一層の安定化

本会紹介印刷物等を作成、加入促進の媒体として活用。

2. 支部単位での活動の活発化
各支部の総会や研修会、講演会等の企画を一層充実させる方策を検討。

①支部総会・研修会への教職員派遣。（原則 越谷・湘南1名ずつ）

②支部総会・研修会における面談・講話、特に単位取得状況・就職状況についての情報を提供。

③支部交付金の交付。（支部人数1～10：6万、11～20：7万、21～40：8万、41名～2千円/人）

④各支部より、支部運営を活性化するためのアイデアを募集。特別委員会ですり援助金を交付。（支部活動特別援助金 予算300万円）

⑤要望により宛名シールを送送。

⑥支部の事情によっては、支部会合を本部にて企画・運営・援助。

3. 就職対策への援助を強化

①大学両キャンパスのキャリア支援課と連携。学生の就職活動への有効な支援を検討し実行。

②支部総会・研修会にキャリア支援課の協力を仰ぐ等の支援。

③全会員に開かれた「親と子のため

の進路問題研修会」を神奈川県支部・埼玉県支部共催から発展させ協力。

4. 会員及び学生の活動援助を強化
広報を強化するなどして、これらの制度が有効活用されるよう努める。

5. ホームページの充実
活動充実強化特別委員会内に専門のチームを設置。ホームページを通じて会員相互の交流、各支部の連携などについて検討。

6. 文教大学学園の「校友会」と協力、大学との連携

平成24年度発足した「文教大学学園 校友会」を通じ、学園各組織との連携を深める。

7. 代議員会の開催

①越谷キャンパスで開催。

②関係各課の協力により、入試・教務・生活・就職等についての詳細な資料を作成し配付する。

③父母教の運営委員、代議員（支部長）と教職員との交流と親睦をはかり、一層充実に努める。

8. 支部長研修会の開催

①湘南キャンパスで開催。

②支部運営等に役立つ研修を行う。

9. 「父母のための一日大学」の開催

①クラス・ゼミ担任の教員と保護者との懇談会の充実。

②越谷・湘南両キャンパスそれぞれの特色を活かした企画・実施。

③保護者・教職員の親睦。

④学生の部活動やサークル活動等の日頃の活動を紹介。

⑤平成26年度にむけ保護者の意向をより活かす一日大学のあり方を検討。

10「親と子のための進路問題研修会」の開催

①湘南、越谷両キャンパスで開催。

②参加募集、会場の確保、講師紹介等の便宜。

会員へのサービス

11. 会員への生涯学習機会の提供

①「父母のための一日大学」や支部総会・研修会において生涯学習の機会を提供。

②生涯学習センター等の有料講座・講習会に参加する会員に1割程度を援助。（一講座4千円を限度）

12. 会員子女への援助

①生涯学習センターの有料講座・講習会に参加する会員子女に1割程度（一講座4千円を限度）を援助。

②キャリア支援課主催の有料講座・講習会に参加する会員子女に1割程度（一講座4千円を限度）援助。

13. 学生活動への援助

①学生の課外活動等への援助を40万円から400万円に大幅増額する。



懇親会の様子

②全国大会等に参加し、成果を達成したクラブ・サークルに学生活動特別援助をする。

14. 学生生活への援助

突発的な事由等により、経済的負担が増加した会員の子女に援助する。

15. 「父母のための大学ガイドブック」配付

活動充実強化特別委員会内に設置した専門のチームによって、「父母のための大学ガイドブック」を改訂し、新入生保護者に配付する。

広報活動

16. 会報・オリオン通信の発行と父母教ホームページの運営

・「読みやすい会報」をスローガンに年3回発行。

・本会ホームページでの随時新着情報の配信等、利用促進をはかる。

・支部長向けに、代議員会及び支部長研修会等の必要事項を『オリオン通信』として発行。

・支部長向けに運営委員会の内容を「父母と教職員の会通信」で報告。

・派遣教職員説明会を開催。

17. 学生への本会の存在と活動の広報

①オリエンテーション時の配付物に父母教の案内を同封する等。

②湘南キャンパスの推薦入学新入生保護者向け事前説明会への協力。

③入学式・卒業式での会長の祝辞。その他

18. 三役会・運営委員会の開催

①本会の目的達成に必要な事業の議案を整理するために三役会を開催。

②上記議案を決定するために運営委員会を開催。

19. 特別委員会設置

活動を推進するために、必要に応じて特別委員会を設置する。

20. 特別活動基金を組み入れ

周年行事や震災などの突発的事案のために活動基金を積み立てる。

21. 藍蓼会（同窓会）・県人会との連携の強化

①「ご退職される教職員を送る会」等の藍蓼会の活動に積極的に協力。

②学生の県人会開催等、掲示板等を利用して学生に呼びかけ、県人会と支部との仲立ちをする。

22. 功労会員への感謝状・記念品の授与

支部長、教職員の退任、退職時に感謝状・記念品を授与。

23. 学生保険と保護者保険の募集

学生の24時間のケガと損害賠償を補償する学生保険と、保護者の病気・事故を補償する保護者保険（無事故戻し付き）の募集について東京海上日動火災保険株式会社及び三井住友海上火災保険株式会社と事務委託契約書を締結し、事務費を受領する。

◆予算案への主な質疑◆

◎賃借料について

（質問）コピー機等のリースは平成25年度から予算執行するとの理解で良いか。

（回答）コピー機、印刷機の入替えに伴い、平成25年度から予算執行する。

◆事業・活動計画についての質疑◆

◎財政基盤の安定化について

（質問）会費納入率の低い学部への協力要請はどう考えているか。

（回答）学生への援助金などの実績を上げることと理解を得たい。

文教大学父母と教職員の会 平成24年度決算及び平成25年度予算

〔決算〕 自 平成24年 4 月 1 日
至 平成25年 3 月31日

〔予算〕 自 平成25年 4 月 1 日
至 平成26年 3 月31日

【収入の部】

(単位：円)

科 目		24年度予算額(b)	24年度決算額(a)	比較増減(a-b)	備 考	25年度予算額
会 費 収 入		34,210,000	46,755,000	12,545,000		44,210,000
会 費		30,000,000	42,530,000	12,530,000	正会員会費(1年1,562人、2年1,397人、3年1,201人、4年87人、計4,247人) @10,000円×4,247名=42,470,000円+150,000円(在学奨励金)=42,620,000 (退会費@10,000円×99名=990,000円) -42,620,000円=90,000円	※40,000,000
教 職 員 会 費		3,710,000	3,710,000	0	文教大学より(越谷・湘南 @10,000円×371名=3,710,000円)	3,710,000
賛 助 会 費		500,000	515,000	15,000	賛助会員 @5,000円×101名=505,000円 505,000+10,000(賛助会員前受金)=515,000	500,000
そ の 他 収 入		1,540,000	1,495,753	-44,247		1,500,000
雑 収 入		1,540,000	1,495,753	-44,247	指保事務代行費917,785円、学長主催パーティー200,000円、 利息+426円、懇親会費他	1,500,000
当 期 収 入 合 計		35,750,000	48,250,753	12,500,753		45,710,000
前 期 繰 越 金		8,324,844	8,324,844	0		13,328,750
合 計		44,074,844	56,575,597	12,500,753		59,038,750

※10,000円×4,000名=40,000,000円

【支出の部】

科 目		24年度予算額(b)	24年度決算額(a)	比較増減(a-b)	備 考	25年度予算額
事 業 費		31,120,000	30,363,286	-756,714		41,620,000
1 事 業 費 A		27,120,000	26,259,307	-860,693		37,320,000
	特別活動基金組み入れ	2,000,000	2,000,000	0	周年行事、震災などの突発的事案用の基金	2,000,000
	学生活動一般援助金	400,000	240,000	-160,000	大学公認団体の日常の課外活動を育成するための援助	4,000,000
	就 職 対 策 援 助 金	500,000	500,000	0	キャリア支援課への援助	1,800,000
	会 員 へ の 援 助 金	20,000	3,200	-16,800	生涯学習センター主催の有料講座・講習会への参加援助(会員本人)	20,000
	会員子女への援助金	200,000	113,000	-87,000	キャリア支援課主催・生涯学習センター主催の講座・講習会等への参加援助(会員子女)	200,000
	父母のための一日大学費	1,700,000	1,868,798	168,798	越谷・湘南キャンパス一日大学に関わる全ての諸費用	2,000,000
	支部間役員交流援助金	200,000	175,400	-24,600	一都六県支部役員合同研修会への援助	200,000
	支 部 交 付 金	12,000,000	11,119,118	-880,882	支部交付金 会員数に応じて支給 交付単価@1,800円(1回目9,867,140円、2回目572,980円) 支部活動特別援助金を支部(678,998円)	12,000,000
	支部活動特別援助金	0	0	0	※支部からの申請に応じた、不足金や新しい事業への援助、 支部長名刺印刷代他	3,000,000※
	会 報 発 行 費	3,000,000	3,354,383	354,383	会報発行(年3回)印刷・編集、執筆料、封入作業費用、送料	4,000,000
	広 報 費	800,000	700,248	-99,752	HP管理料、藍染祭・嵯峨祭広告掲載代、父母教案内板	800,000
	派 遣 教 職 員 費	3,900,000	3,875,316	-24,684	支部総会・研修会への教職員及び役員の派遣費用、保険代他	4,900,000※
	加 入 促 進 費	1,400,000	1,309,844	-90,156	ガイドブック印刷・送料など、入会の促進にかかる諸費用	1,400,000
	学生活動特別援助基金組入れ	500,000	500,000	0	全国大会参加など成果の出た課外活動への援助用基金	500,000
	学生生活援助基金組入れ	500,000	500,000	0	突発的な事由などによる経済的負担増加への援助用基金	500,000
2 事 業 費 B		4,000,000	4,103,979	103,979		4,300,000
	代 議 員 会 費	2,100,000	2,121,140	21,140	第27回代議員会 会議に関わる全ての費用及び支部長・教職員(退職者)記念品代 (※大学より懇親会分担金20万円は雑収入へ計上)	2,200,000
	支 部 長 研 修 会 費	1,900,000	1,982,839	82,839	支部長研修会に関わる全ての費用	2,100,000
管 理 運 営 費		11,880,000	12,883,561	1,003,561		15,750,000
3 運 営 委 員 会 等		150,000	249,321	99,321	三役会・運営委員会・特別委員会・その他会議費	400,000
4 旅 費 交 通 費		530,000	498,940	-31,060	三役会・運営委員会・特別委員会等交通費	650,000
5 通 信 ・ 運 搬 費		250,000	261,066	11,066	切手、電信電話料、宅配便・メール便代他	300,000
6 印 刷 製 本 費		450,000	563,770	113,770	コピー代、封筒他印刷費用	600,000
7 消 耗 品 費		400,000	498,899	98,899	文房具、雑貨他	550,000
8 事 務 室 備 品 費		200,000	284,937	84,937	会計ソフト年間管理料、パソコン購入代等	300,000
9 賃 借 料		150,000	32,079	-117,921	FAX・コピー機リース料等	450,000
10 人 件 費		9,400,000	10,079,624	679,624	専従職員・非常勤職員給料、アルバイト料、事務局協力員手当他	12,000,000
11 雑 費		350,000	414,925	64,925	金融機関振込手数料、康平費(祝い金・香典・見舞金)、退職者への花代他	500,000
予 備 費		1,074,844	0	-1,074,844		1,668,750
当 期 支 出 合 計		44,074,844	43,246,847	-827,997		59,038,750
次 期 繰 越 金		0	13,328,750	13,328,750		0
合 計		44,074,844	56,575,597	12,500,753		59,038,750

平成25年4月6日 監査の結果相違なきことを認めます。

※25年度から「教職員・役員派遣費」に変更になります。

会計監査委員

石田 晴美 印

石原 章年 印

青山知恵子 印

都道府県支部のページ

第18回 山形県支部の巻

暑く寒いが自然豊かな山形での

研修エピソード

山形県支部長 高橋 良浩（7月28日現在）



さくらんぼの生産量全国一位。冬は豪雪地帯。夏もつい最近までは

40.8℃の最高気温を持った県。暑い夏、寒い冬を体験でき、自然豊かで四季もはつきり。食べ物、それはもうおいしいものばかり。春は山菜、夏はさくらんぼから始まりスイカ、ぶどうなどなど。秋は舞茸などのきのこ、山形名物「芋煮会」、ブランド米「つや姫」を始めとした美味しいお米。冬はラ・フランス、そして雪。

江戸時代には、松尾芭蕉が多くの句を詠んだことも有名。山寺で読んだ「閑さや岩にしみ入蟬の声」。最上川で読んだ「五月雨をあつめて早し最上川」などがあります。

また、「おしん」の里、「おくりびと」の舞台、さらに「スイングガールズ」のロケ地としても知られています。

様々な顔を持つ山形県。その形はまさに人の横顔そのものであります。

文教大学から約400キロも離れたそんな山形からも、昨年より若干少なくなりましたが、今年は110名の学生がお世話になっております。父母教会員数は79名と約72%の方が入会しております。

山形県支部では毎年大きく2回の行事を行っております。ひとつは総会と研修会及び個人面談。もう一つは冬期研修会と懇親会です。

総会時の研修会は、大学、父母教を知ってもらうことを主として、先生方から専門分野のご講演をいただくこととしております。また冬期研修会では就職状況を主としてキャリア支援課の方から講演いただくこととしております。



県花：べにばな

さらに、両研修会で、学生生活の状況、就職状況など様々な情報も聞けるように父母教の事務の方にお願ひしております。また親同士のカフェトークの時間も設けました。それにより、参加した人との交流もあり、色々な話ができて楽しい時を

過ごせました。更には2年、3年と時を重ねるに連れだんだん深く接することができました。

子どもを通しての親のつながりは小学、中学くらいで終わるかと思っていました。しかし父母教に参加して大学までもつながりが持てたことは大変よかったと思います。

研修会でのエピソードを3つほど紹介します。

一つ目は3年前になりますが「藍蓼会」の山形県支部の方と一緒に懇親会を行った時のことです。藍蓼会の方の自己紹介時、聞き覚えのある名前の方がおりました。話を

してみると思った通り私の小学校時代の恩師の娘さんでした。こんなところでお会いするとは！と驚きとともに文教大学の結束の強さを感じる

ことができました。二つ目は、2年前の冬期研修会でのことです。その日山形県内は大雪にみまわれ、私、支部長が研修会に間に合わないといったハプニングもありました。しかし、そこは会の皆様

が奮闘してくださり、大雪の影響で参加者は少なかったものの、その分、濃い研修ができたもの、と思います。この時の支部役員の方々には感謝申し上げます。

三つ目は、ここ2年間、就職が決

まった学生からの就職活動奮闘記を話してもらったことです。親は真剣に学生の話を聞き大変ためになり、素晴らしい学生を育ててくれている大学に感心するばかりでした。

いづれにしろ文教大学、父母教そして藍蓼会すべてが一緒になってのまさに「ファミリー」としての一面を肌で感じる事が出来ました。

私の子どもは昨年度すでに文教大学を卒業しており、今回の総会で支部長をおこなうこととなりました。大学の先生と直に話す機会があったり、日本中の支部長と話ができたりと、支部長であった2年間は大変貴重な2年間でした。この場をお借りしてお礼申し上げます。

最後になりますが、今後の文教大学及び文教大学父母教の益々のご発展をお祈りしております。



2012年7月 総会・研修会時

支部派遣教職員報告

その⑩

福島会津支部総会報告

会津若松市七日町をたずね

人間科学部教授 神田 信彦



梅雨明けの日、
8月3日、会津地方は、最高気温
26℃と比較的快適

でした。「八重の桜」の影響で観光客も増加しているとのことでしたが、会場となった渋川問屋のある七日町通りは、そのブームとは一線を画し、さまざまな「蔵」を中心とする風情のある街並みを楽しむ観光客で賑わっていました。

予定時刻よりだいぶ早く着いた私は、七日町通りにある会津漆器や絵ろうそくの店をのぞいたり、蒲生氏郷にちなむレオ氏郷南蛮館や、野口英世青春館のあたりまで足をのばし、もう少し時間があればと思いつつ踵を返し渋川問屋に向かいました。

会津支部総会は出席者14名で定刻通り13時30分に始まり、佐藤孝信支部長の要領を得た軽妙な進行のうちに議事は無事終了しました。

暫時休憩の後、私が越谷キャンパ

スの学生達の生活（授業への取り組み、部活・サークル活動やアルバイト）ぶりや進路状況等を説明しました。また、情報学部の新井准教授が現代の学生教育の問題点とその改善策について平易に持論を展開され、出席された方々から多くの共感を得ていました。

個別相談を終え、懇親会、古川顧問や前支部長他の方々も加わられ、いっそう賑やかなそしてなごやかな2時間ほどの会となりました。余談ではありますが、会津の郷土料理「こづゆ」は、私の親しんできたこづゆよりだいたい上品で、こづゆにもいろいろあるのだらうかと思いつつも美味しくいただきました。

最後に、福島会津支部も役員の方々を中心にチームワークよくまとめ、情報交換や意見交換がうまく行われていること、また出席された方々は支部総会と研修会をとっても楽しみにされていることを実感した一日でした。



神奈川県支部総会報告

湘南キャリア支援課長代理

西澤 秀行



全国の支部総会では、学生を取り巻く環境について「就職活動における

ご父母の心構え」というテーマで具体例を挙げながらお伝えしている。お子様の行く末が気にならないご父母はいないと思うが、会員数に対する総会への出席率は、自宅通学者の多い支部よりも自宅外通学者の多い地方都市の方が圧倒的に高い。

湘南校舎で学ぶ学生は、神奈川県出身の自宅通学者が多い。7月に開催された神奈川県支部総会では、神奈川県出身学生の特性について触れた。私も神奈川県出身のひとりだが、神奈川県民は地元に着用を持つ人が多い。就職相談でも「神奈川県を出たくない」という学生が少なくない。そうした学生は、求人票の勤務地欄に神奈川県以外の地域が記載されていると受験を躊躇する。女子学生よりも男子学生にその傾向は多く見られる。

先日茅ヶ崎市出身の男子学生に

どのような就職を考えているかを尋ねると「特にやりたいことはないが、茅ヶ崎から出たくありません」と勤務地重視の意向を示した。「何でそこまで茅ヶ崎にこだわるのか」を尋ねると、「今の生活環境を崩したくない」という回答だった。その思いに善し悪しはなく、そこから具体的な企業選択が始まるが、選択肢は極めて限られてくる。徐々に自分の思いと実社会をすり合わせながら、どのように社会に歩み寄ることができているかが自立の鍵となる。「今が最高！」という保守的な意識や、行動範囲の狭さが就職活動苦戦の要因となっているのも事実である。経済的自立、精神的自立、生活の自立をどのように促していくのか、ご父母の力が必要となる。

親元を離れ生活していくと、一ヶ月の家計について考え、困った時には親以外の人の力を借りようとし、朝は自分で起きる。そうしたことで生まれる本人の意識と習慣が、就職活動へプラスとなる要素は多い。一長一短あるにせよ、親が傍にいないからこそのデメリットをできるだけ少なくしていくヒントを総会ではお伝えした。

【湘南キャンパス一日大学】

今年も、最大のイベントである「父母のための一日大学」が、6月2日（日）湘南キャンパスで開催されました。今年の出席者は、新1年生の保護者の方を中心に、昨年を上回る184名でした。お天気にも恵まれ、多くの保護者の皆様にご満足いただけたと思います。

学科別懇談会

午前中は、6会場に分かれて学科別懇談会が行われました。各学科のカリキュラムの説明、教育指導方針、就職状況やその支援などの説明や質疑などが、学科長をはじめとする先生方を中心に行われました。

懇親会

学生食堂2階で参加者と教職員の懇親会が行われました。昨年同様、吹奏楽部の皆さんによる演奏から始まりました。情報学部教授・坪井先生による乾杯の後、昼食をいただきながら、学科別、近隣の各支部単位のテーブルを囲んで、先生方と保護者の皆様が歓談する光景が見られました。今年はいくさんの教職員の方々が参加してくださり、例年にも増して盛況な会になりました。



懇親会 吹奏楽部による演奏



当日受付



懇親会 ランチタイム



学科別懇談会 国際学部観光学科



懇親会にて 歓談の光景



懇談会 情報学部経営情報学科

全体会講演

今年は、情報学部准教授の池辺正典先生による「青少年のインターネット利用の現在」の題目で講演会が開かれました。近年、特に話題になっているテーマでもあり、会場は満席となりました。

講話・ゼミ発表等

講話1『国際化時代の穀菜果食』

健康栄養学部講師 岩井達先生

講話2 竹林ゼミ『「独創性のある映像作品の制作に挑む」活動状況と就職実績について』

情報学部准教授 竹林紀雄先生

ゼミ発表『Journeys in Japan：外国人旅行者の視点で見つめ直す日本』

国際学部准教授 高井典子先生

国際学部短期留学プログラム紹介：概要とその魅力

国際学部准教授 千葉克裕先生

それぞれ熱のこもった講演でした。

また、学生が案内する『学内見学ツアー』および、キャリア支援課・西澤課長代理による「就職活動におけるご父母の心構え」も昨年に引続き大好評でした。

たくさんさんの保護者の方から感謝の言葉をいただくことができた一日大
(M) 学でした。



情報学部 竹林紀雄先生&ゼミ学生による発表風景



全体会講演 情報学部 池辺正典先生
「青少年のインターネット利用の現在」



国際学部 千葉克裕先生
「国際学部短期留学プログラム紹介・概要とその魅力」



健康栄養学部 岩井達先生
「国際化時代の穀菜果食」



キャリア支援課 西澤秀行課長代理
「就職活動におけるご父母の心構え」



国際学部 高井典子先生&ゼミ学生による発表風景

【越谷キャンパス一日大学】

6月2日（日）に父母と教職員の会主催の「父母のための一日大学」が、約400名の保護者の方々と100名を超す教職員のご参加を得て、盛大に開催されました。

教室別懇談会

午前中は各学部・学科・専修に分かれ、授業・学生生活そして就職などについて、日頃お子様が指導を受けている先生方との懇談会が設けられました。参加保護者の殆どの方が出席なさいました。

昼食会

県及び地区に分かれての昼食会でした。同じ地域の方々と昼食を頂きながら、お子様の話題など、楽しく懇談されている光景が見受けられました。テラス席も人気でした。

講話とクラブ・サークル発表

今年の講話は、

- ・文学部・豊口先生による「現代文字事情～文字を正しく書いていますか？～」
- ・人間科学部・二宮先生による「ゆとり教育と大学生～生涯学習の観点から～」
- ・教育学部・三谷先生による「コーラス・ワークショップ」



文学部 日本語日本文学科 懇談会



3号館前 受付風景



石橋昭良先生「進路の現状と支援について」



特別支援教育専修 懇談会



地区・都県別「昼食会」



豊口和士先生
「現代文字事情～文字を正しく書いていますか？～」

・人間科学部（就職委員長）・石橋先生による「進路の現状と支援について」

の4つの講話でいずれも 盛会でした。

学生によるクラブ・サークル発表は、管弦楽団・室内合奏団・創作ダンス部・ピアノアンサンブル愛好会・アカペラサークルハモハモ・吹奏楽部・合唱団コーリングデ・打組「出津龍」と8団体が参加して下さり、限られた短い時間の中、日頃の練習の成果を発表してくれました。

又、学生団体「アンサンブルSogao」は保護者の方々とコーラス・ワークショップに参加し、12号館では茶道倶楽部がお点前を披露しました。

懇親会

学生食堂の2階で行われた懇親会では「コーラス・ワークショップ」の成果発表があり、素晴らしい歌声を披露して下さいました。保護者・教職員・学生の三者の親睦を図ることができたと思います。

「父母のための一日大学」はお子様の日頃の様子を知り、教職員と親睦を図れる良い機会です。来年もより良い企画を立てていきます。是非ご参加ください。

(S)



二宮雅也先生
「ゆとり教育と大学生～生涯学習の観点から～」



三谷垂矢先生「コーラス・ワークショップ」



クラブ・サークル発表「ピアノアンサンブル愛好会」



クラブ・サークル発表「吹奏楽部」



懇親会での様子



クラブ・サークル発表 打組「出津龍」

新シリーズ①

現場から見た昨今の文教大生気質

大学生の「気風」について

文教大学学長 野島 正也



学長になって約半年になる。これまで36年間、越谷キャンパスで教壇

に立っていたので、そこから遠ざかるのはさすがに寂しい。しかし一方で、毎週、湘南キャンパスにも出かけるようになり、学生の明るく朗らかな話し声が聞こえてくると、両キャンパスの学生を少し離れて見守るのでもいいものだという気になってくる。

私が文教大学に赴任したのは1977年で、その年から文教大学は男女共学となった。文教大学の前身である立正女子大学の学生はすでに在籍していたので、しばらくは女子大生を中心に講義していた。当時の印象としては、彼女たちは、穏やかでおとなしく、一見、良家のお嬢さん風だった（一見というのは不要かも？）。服装はどちらかというと地味で、都市部の女子大生にみられ

るような小じやれた感じではなかった。

男女共学になって男子学生が入ってきてからは、キャンパスがずいぶん活気づいてきたように思う。男女共学はいいものだ、と実感した。

教育実習の学校訪問や教育委員会事務局に所用でいくと、よく「文教卒業の先生方はよくやっていきます。みんなに好かれていきます」などと褒められる。お世辞半分にしても、そう言われるとうれしい。明るく穏やかで、人とうまくやっていくというの（皆が皆、そうではないにしても）、文教大学で受け継がれてきた気風というものではないかと思う。

これから、周囲から愛され、信頼される文教生の気風をだいにしたい。

ところで、むかし、大学教え歌というのが流行ったのをご存じだろうか。1962年に守屋浩という当時人気の歌手が歌って広まった。これまでやや特権的な地位にあった大学

が、進学率の向上と共に大衆化するなかで各大学の学生気質が見えてくる。歌は、誇張と揶揄を含んだものだが、けっこうおもしろい。例えば、「何もしないで卒業して、世に出て恥かく○大生」、「いつも神田で叩き売り、バイトする奴あ○大生」、「ムカムカするよな格好して、ウインクする奴あ○大生」、「十字架背負ってケンカするキリスト泣かせの○大生」…。

こうした「豪気」な学生気質は過去のもので、いまはよほどまともになったと思うが、各大学の学生気質が平準化する、つまりどの大学も学力水準を除けば皆同じようなもの、になる傾向は、大学の個性喪失につながり、受け入れがたい。

文教生の気風は、先にみたように、外部からの評価によれば、明るく温和で、良好な人間関係を作れるというもので、私もほぼ同じ印象をもっている。大学としては、この良風を大切に、授業や課外活動を通じて、学生のコミュニケーション能力、思いやりの心、マナー・礼儀を尊重する心をのばしていきたい。

では具体的には？ 私の経験に即して学生に期待することを挙げ

てみよう。あいさつをしつかりしよう。人と楽しく話せるようにしよう。人に話したい中身をもつ人は会話を弾ませられる。ゼミ飲みでは、たまには「先生どうですか？」などとビールを注いでみよう。研究室にレポートを出しに行ったら、先生からあまりの出来の悪さに「出直してきなさい」といわれた。そういうとき一度退室して、すぐにドアをノックして「出直してきました」などと言わないようにしよう。ゼミ合宿等でタクシーに乗るとき、「先生どうぞ」といって助手席を勧めないようにしよう。料金は先生が払うにしても。など。

学生の気風というのは掴みどころがないが、学生同士、学生と教職員の日常的なふれあいの中でそこはかとなく醸されるものだと思う。卒業までの4年間で勉学の成果を挙げるのは当たり前。それに文教らしい味が加わって「文教卒」の風合いとなる。

文教生の気風は、これからも文教生が創ってくれる。頼みますよ。



文教ネコ「ハナ」ちゃん。気質は穏やかで人なつっこい♡

「親子のための進路問題 研修会」のお知らせ

父母と教職員の会副会長(神奈川県支部)

小林 正信

《進路問題研修会とは》

進路問題研修会は、埼玉県・神奈川県支部が共催し、大学、学生、卒業生の協力を得て、2005年に始まった研修会で今年9年目を迎えます。この間、大学教職員、学生、卒業生、保護者の方々の協力を得ながら、進路のことを学び合う研修会として定着しました。

今年からは一都三県を中心とした本部事業として、越谷キャンパス、湘南キャンパスの学部の特性を生かした進路の研修会として、一層の充実を図っていきます。

進路問題研修会を始めた2005年頃の就職状況は、1990年代の「バブル崩壊」、「アジア通貨危機」を経た2000年代半ばの輸出産業の好転で回復し、就職氷河期は一旦終結したと思われる時期でした。この間、求人倍率は2000年0.99倍を底に2009年の2.14倍まで回復後、再び2012年の1.23倍まで悪化し、今年2013年は1.27倍です。

求人倍率に関わらず研修会で言わ

れているのは、「即戦力」、「採用の厳選化」、内定を取れる学生と取れない学生の「内定格差」です。昨年の研修会の資料に目を向けると「企業の採用ターゲットは、人手ではなく意欲ある人材……」。

社会が求めるものは時代とともに変化しています。保護者が就職した時代とは大きく違っていることを知って、子供の進路、就職活動の良き理解者、力となっていたきたいと思ひます。

《昨年の研修会のプログラムから》

- ① 文教大学越谷・湘南キャンパスの進路・就職状況
- 学部別の就職進路状況、大学の様々な就職対策についてお話し頂き、保護者への助言もありました。
- ② 外部講師による就職活動へのアドバイス

最近の就職事情を反映した具体的なアドバイスをいただきました。

- ③ 内定者・卒業生による就職活動の体験発表

教員、公務員、企業など様々な職種の内定者・卒業生に発表していただき、これまでに多くのアドバイスをいただきました。

・ラジオ番組制作に関わる夢で鉄道会

社に、エンドユーザに接する仕事の希望を社内の人を支えることで役立ちたいと意識を変え企業人事に内定。夢にはこだわる一方で、実現方法は多様なことだと思ひます。

・ダブルスクールで日々、時間単位の学習スケジュールをこなす学生。地域社会に向き、勇気を持って住民に声かけして、志望動機を強くする学生。

就活体験は3人3様で、就活を通じて成長していることを感じ、感動させられました。

④ 職種別講演会

教員、公務員、一般企業など職種に分かれ、大学教職員のより具体的なお話がありました。

⑤ 個別相談

就職、学生生活、学業などについて、大学教職員が相談希望者の相談に応えました。

《参加された皆様からのご意見・ご感想》

越谷キャンパス研修会

◎ 親の世代と大分ちがう就活について大変参考になりました。

◎ 子供にもっと「もてる資源(人的資源)」を利用する」ことを学んで欲しいと思いました。親を含め周りの

大人の話も吸収してほしい。

◎ とても大変ということをお子共々感じる事が出来、全く何もわからない状態ではありますが、そのお話を聞けて、自覚することが出来、よかったと思ひました。

湘南キャンパス研修会

◎ 自分が苦労したことからのまとめなので良かった。また、現状に即したものであったので良かったです。今後の就職活動に役立つと思ひます。(子どもに伝えます)

◎ 今まで聞いたことのない話をたくさん聞くことができました。

◎ 親の心構え、つい言ってしまうようなことを言っはいけないことなどのアドバイスがありました。

《今年の「親子のための進路問題 研修会」について》

・越谷キャンパス 11月24日
(日曜日) 10時20分～17時

・湘南キャンパス 12月1日
(日曜日) 10時30分～17時

※参加申し込みは、10月上旬にお届けする案内に沿って、お申し込み下さい。学生も参加できます。

越谷校舎 施設課

越谷校舎施設課は、正門を入り、一番近い校舎である3号館の中にあります。3号館の入口のすぐ左手に受付があり、受付と学生支援室との間の奥が施設課の事務室です。現在は4名のスタッフで施設課の運用に対応しています。

施設課が関わる父母教の行事の中で一番大きいのが6月に開催される「父母のための一日大学」です。当日はもとより、会場の準備から設営、備品の用意など様々な分野で関わっています。

施設課の名前通り、主な業務は施設や備品の管理、学内行事の会場設営（皆さんも「オープンキャンパス」などでいらしたこともあるかと思います）、工事などの対応、等があり、業務は多岐にわたっております。

越谷キャンパスでは、今年度中の予定として、体育館のトレーニングルームにある機器の整備、また、授業に関連することとしてAV機器の整備を行う予定です。学生がよりよ



い環境の中で学業に集中出来るための校内環境の整備は、施設課の大切な仕事の一つです。

今春、校内美化のために、父母教・埼玉県支部の方々が校内のあちらこちらにプランターを置き、きれいなお花を植えてくださいました。

今後もこういった事業を通し、「父母と教職員の会」の皆様方と協力し、業務を進めたいと思っております。普段は学生やご父母の皆様方と直接接する機会があまりありませんが、「縁の下の力持ち」で頑張ります。

（夏休み中で、残念ながららメンバーが集まらず、写真はありません。かわりにリニューアルした3号館1階の写真をご覧ください。）

役 割				氏 名		所 属	
顧問				野島 正也		学長	
会 副 副 会 副 会 副 会 副 会	長			高橋 一弘		千葉県支部	
	長			吉澤 勝宣		埼玉県支部	
	長			関根 義昭		東京都支部	
	長			小林 正信		神奈川県支部	
	長			星野 常夫		教育学部・越谷学生委員長	
運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営	長			幡鎌 博		情報学部・湘南学生委員長	
	員			川名 昭		千葉県支部	
	員			齋藤 浩二		千葉県支部	
	員			増田さとみ		埼玉県支部	
	員			福井 伶子		埼玉県支部	
	員			横山 和義		東京都支部	
	員			庭野 正和		東京都支部	
	員			小嶋 均		神奈川県支部	
	員			柏木あけみ		神奈川県支部	
	員			石橋 昭良		人間科学部・越谷就職委員長	
	員			石井 信明		情報学部・湘南就職委員長	
	員			樋口 泰裕		文学部・越谷入学センター 副センター長	
	員			佐久間拓也		情報学部・湘南入学センター 副センター長	
	員			佐藤 正伸		教育学部	
	役 割				氏 名		所 属
運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営 運 営	員			岡田 斉		人間科学部	
	員			紙 宏行		文学部	
	員			関 哲朗		情報学部	
	員			キャリア・Ａ・テクノロジー		国際学部	
	員			秋吉美穂子		健康栄養学部	
	員			相原真佐巳		学長事務室課長	
	員			菅沼 隆昭		越谷教育支援課課長	
	員			石田 知子		越谷キャリア支援課課長	
	員			乳井 英太		湘南教育支援課課長	
	員			伊藤 整二		湘南キャリア支援課課長	
監 査 監 査 監 査	員			石原 章年		千葉県支部	
	員			青山知恵子		東京都支部	
	員			石田 晴美		情報学部	
事 務 事 務 湘 南 越 谷 湘 南 越 谷 越 谷 越 谷 越 谷 事 務	局 長			惠羅 博		情報学部	
	次 長			萩原 敏行		教育学部	
	協 力 員			千葉 克裕		国際学部	
	協 力 員			青山 鉄兵		人間科学部	
	協 力 員			宮越 昭彦		湘南事務局部長兼総務課課長	
	協 力 員			望月 洋雄		元越谷校舎事務局職員	
	協 力 員			多賀 利枝		事務局	
	局 員						
	局 員						
	局 員						

学生活動紹介

吹奏楽部（湘南校舎）

情報学部 情報システム学科 3年

部長 並木 文佳

私たち湘南校舎吹奏楽部は「つなぐ音楽」をモットーに、23人という吹奏楽部としては少人数で活動しています。活動内容としては、毎年開かれる夏の吹奏楽コンクールへの出場や、定期演奏会の開催などです。加えて、他にも様々な地域のイベントに積極的に参加しています。

例年、父母と教職員の会が主催する「父母のための一日大学」で保護者の皆様にも演奏をお届けしています。また、この大学の地元である茅ヶ崎市の中央公園で行われる「ちがさき環境フェア」というイベントに出演させていただいております。ステージでは演奏の他にも、そのイベントにちなんだ環境にまつわるクイズを考案したりと、地域への貢献も心がけています。また、このように地域で演奏することによって、私たちの部活の知名度を上げることも目標にしています。

その甲斐あって、今年度は江の島のヨットクラブの方に声をかけていた

き、初めての場所で演奏させていただきました。お客様は私たちの演奏を聴いて、何でもアンコールをして喜んでくださいました。このように演奏を楽しんでもらうことによって、私たちの存在をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思います。

今年度は、特に新入部員が少なく当初は困っていました。しかし前向きに考え、より個々のレベルアップに加えて、少人数ならではの人と人のつながりを意識した演奏を目指して、文教のサウンドを進化させていきたいと思っています。今後とも、あたたかいご支援のほどよろしくお願いいたします。



「ちがさき環境フェア」での演奏の様子

新入生歓迎スポーツ大会

（越谷校舎）

『大学最大の行事』を目指して

人間科学部 人間科学科 3年

実行委員長 稲田 龍之介

5月14日、空は晴れ渡り最高のコンディションの下、新入生歓迎スポーツ大会（以下新スポ）が開催されました。実行委員11人と『大学最大の行事』を目指してやっていたこと、スタートしたのが1月25日でした。約4カ月間みんなで必死に仕事をし、駆け抜け、なんと参加組数が、約300組。述べ人数、約2千強の参加が決定しました。正直、自分自身が震えてしまうような数字でした。本当に大学全体が参加しているのだと、改めて実感したのを今でも覚えています。

しかし、更に新スポは私の想像を超えるものになっていきました。その要因は、今回、「父母と教職員の会」様に大きな支援をして頂いたことです。新スポ当日、恐らく参加した学生のみならず、恐らくであろうあのドリンクです。新スポは Sports Festivalとも言われています。まさに Festival! 「父母と教職員の会」様からのドリンクの提供により新スポが本場にお祭りのように盛り上がり

ていました。また配る役員として学友会の方も助っ人で来てくださり、この光景に私は、体育会本部・文教生・支援課・学友会・父母と教職員の会、また様々な支援をして頂いた方々の集合体が新スポを『大学最大・最高の行事』へと押しあげてくださったのだと感じました。

私は本当に幸せ者です。今年の新スポを最高の形に仕上げてくれた11人の実行委員、今回の成功にはなくはならないドリンクの提供をしてくださった父母教の皆さま方など、沢山のお力により、最後には涙がでるほど最高の新スポになりました。本当にありがとうございます。また来年もご協力宜しくお願いいたします。



ドリンクを手に、人間科学部 宮田教授

平成25年度 支部総会一覽

開催日	支部名	会場
8/25(日)	北海道	ホテルサンルート札幌
7/13(土)	青森	青銀荘
未定	岩手	未定
7/15(祝)	宮城	アエル6階 セミナールーム
8/31(土)	秋田	イヤタカ
7/28(日)	山形	山形県生涯学習センター 遊学館
7/21(日)	福島中通り	市民プラザビッグアイ
7/21(日)	福島通町	生涯学習プラザ
8/3(土)	福島会津	渋川問屋
10/20(日)	茨城	ホテルマロウド筑波
8/24(土)	栃木	ホテルニューイタヤ
8/25(日)	群馬	伊勢崎市文化会館
6/29(土)	埼玉	文教大学越谷校舎
6/30(日)	千葉	ホテルプラザ「菜の花」
7/7(日)	東京	文教大学学園旗の台校舎
7/20(土)	神奈川	文教大学湘南校舎
6/30(日)	新潟	アトリウム長岡
9/8(日)	富山	富山県民会館
9月下旬	石川	未定
9/29(日)	福井	ユアースホテルフクイ
8/25(日)	山梨	ホテルやまなみ
9/15(日)	長野	ホテル信濃路
9/29(日)	岐阜	岐阜都ホテル
8/25(日)	静岡	クーポール会館
10/14(祝)	愛知	未定
8/31(土)	三重	松阪商工会議所
8/24(土)	京都滋賀	TKPガーデンシティ京都
8/25(日)	彦根	三宮ターミナルホテル
7/27(土)	和歌山	花ご坊
9/28(土)	鳥取	未定
8/25(日)	島根	サンラボーむらくも
8/24(土)	岡山	アークホテル岡山
8/25(日)	広島	ホテルグランヴィア広島

10/6(日)	山口	未定
8/18(日)	徳島	阿波観光ホテル
8/18(日)	香川	JRホテルクレメント高松
8/17(土)	愛媛	道後温泉ふなや
9/8(日)	高知	高知パシフィックホテル
8/18(日)	福岡 佐賀 合	福岡リーセントホテル
8/17(土)	長崎	観光ホテル八千代
8/17(土)	熊本	TKPガーデンシティ熊本
9/7(土)	大分	別府市社会福祉会館
9/8(日)	宮崎	ホテルメリージュ
8/18(日)	鹿児島	ホテルタイセイアネックス
9/28(土)	沖縄	未定

《お知らせ》

☆父母教ホームページ

文教大学のホームページをご覧いただいた会員の皆様より、父母と教職員との会員のホームページが見つけないというお声をいただいております。現在、大学ホームページのバナーから入れるようになっております。特別委員会の皆様のご協力のもと、身近な情報を随時更新しております。ご覧ください。

☆災害に遭われた方へ

今年もゲリラ豪雨や突風等の被害のニュースが毎日のように報道されています。不幸にして災害に遭われた方は事務局へお知らせください。被害状況に応じてお見舞金をお渡しいたします。

お悔やみ



栗加均先生を偲んで

教育学部長 太郎良 信

教育学部准教授の栗加均先生が8月1日に急逝されました。栗加先生は中学校教諭や大学院での研究生活等を経て、2008年に道德教育担当として本学に着任し、学内外を問わず大活躍中でした。55歳。

昨年末に体調に異変を感じたとのこと、4月からは治療に専念されていきました。その成果もあつてか、定期的な近況報告メールでは、つい先ごろまで「経過は良好で秋学期からは授業が担当できそうだ」と明るい見通しを繰り返し伝えてくれており、私も楽しみにしていたところでした。

文字通り突然のお別れになってしまい、ぼうぜんとする思いです。心より御冥福をお祈りいたします。

越谷キャンパス・花いっぱい運動

越谷キャンパスの正門案内図、11号館、食堂テラス前には、埼玉県支部の方々によりプランターにお花が植えられています。3月の卒業式に華を添えた後も、引き続き植え替え、水やりとお手入れをされているおかげで、暑い中でもけなげに咲いております。是非ご覧ください。



編集後記

2013年の夏は、全国各地においてゲリラ豪雨等の異常気象、熱中症という言葉に尽きると思います。大きな被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

また、支部総会等で大変お世話になった栗加先生の突然の訃報にふれ、心からご冥福をお祈りいたします。

さて、今号からの新連載「現場から見た昨今の文教大生気質」には、父母と教職員の会顧問・学長であられる野島正也先生にご執筆いただきました。今後の展開もお楽しみに。(T)